

県内一の梅林 ^{そうり} 知多佐布里池「梅まつり」

催行日 2022年2月22日
行事委員長 田甫 正治

令和3年度、最後の行事企画が催行出来ました。1月下旬より、コロナによるまん延防止等重点措置が発出され、過去最多の感染者により、3月6日迄更に延長が続く中催行を致しましたが、私を含め10名の会員様に御参加頂き有難うございました。

「佐布里池梅林と佐布里梅」

佐布里池の西側を中心に、今では25種類約6000本にまで増えた梅林は、薄ピンク色の「佐布里梅」・白色で一重の「白加賀」・小枝が緑で花は青みがかった白色の「青軸」などを中心に、楽しむ事が出来るようですが、今年は例年になく寒さが続き、当日も雪模様の天気予報で最高気温7度と、とても寒い日でやはり今年の寒さ続きで、梅の見ごろは、まだまだ程遠い状況でした。どの木もまだまだつぼみが固く、各花の美しさを感じ取れなくて残念でしたが、久々にお会い出来た方は、お互いの健康を確認しながら話題は尽きず、話の花の方がよく咲いていた様です。

通常の見頃は二月中旬から三月中旬迄です。



豆知識

—— 佐布里梅 ——

明治時代の初め頃に、佐布里の鱈部亀蔵（わにべかめぞう）さんが、桃の木に梅を接ぎ木して作り出した品種です。五輪でうす紅色の花が咲き、果肉は厚く、核が小さいのが特徴です。梅干しや梅酒に適しています。

